

平成27年第1回三重県議会定例会

予算決算常任委員会 健康福祉病院分科会

説明資料

	頁
【 議案補充説明 】	
1 議案第20号 平成27年度三重県病院事業会計予算	1
2 議案第55号 病院事業庁企業職員の給与の種類及び基準に関する 条例の一部を改正する条例案	6
3 議案第88号 平成26年度三重県病院事業会計補正予算（第3号）	7

平成27年3月9日

病院事業庁

1 議案第20号 平成27年度三重県病院事業会計予算

【平成27年度当初予算編成にあたっての基本的な考え方】

平成27年度の病院事業は、こころの医療センターにおいては、精神科医療の中核病院としての取組など、一志病院においては、家庭医を中心とした地域医療の取組など、また、志摩病院においては、指定管理者による運営のもと、診療体制の回復を図りながら、志摩地域における中核病院としての取組を進めるなど、それぞれの県立病院に求められている役割・機能等を十分に踏まえつつ、県民の皆さんに安全で良質な医療が提供できるよう充実した取組を実践するとともに、引き続き経営改善に努めてまいります。

【平成27年度当初予算の概要】

(1) 収益的収支

「病院事業収益」は、前年度当初予算と比べ1億6,549万1千円減の55億2,626万2千円となっています。

このうち、「医業収益」は、前年度当初予算と比べ1,300万2千円減の29億1,277万円となっています。この主な要因は、こころの医療センターにおける入院患者見込数の減であり、これは、「入院医療中心から地域生活支援中心へ」という精神科医療の方向性の転換を進めている中で、平均在院日数が短縮していることなどによるものです。また、「医業外収益」は、前年度当初予算と比べ1億5,248万9千円減の26億1,349万2千円となっています。これは、志摩病院の指定管理者に対して交付する経営基盤強化交付金の財源となる一般会計からの繰入金等の減等によるものです。

「病院事業費用」は、前年度当初予算と比べ15億2,129万7千円減の54億850万6千円となっています。

このうち、「医業費用」は、前年度当初予算と比べ1億1,124万9千円減の51億9,284万5千円となっています。この主な要因は、給与費において、平成26年度の給与改定等の影響により増となる一方、経費において、志摩病院の患者数の増による収支改善を見込んだことにより、指定管理者に対して交付する経営基盤強化交付金が減となることなどによるものです。また、「医業外費用」は、支払利息の減等により前年度当初予算と比べ1,291万4千円減の2億1,566万1千円となっています。

なお、平成26年度には、「特別損失」として、地方公営企業会計制度の変更に伴い退職給付引当金等を一括計上しましたが、これは臨時的な費用であり、平成27年度は皆減となっています。

これらの結果、平成27年度の「経常損益」は、1億1,775万6千円の黒字となり、「純損益」についても同額の黒字となっています。

平成27年度当初予算の概要

(収益的収支)

(単位：千円)

主要な項目	平成26年度	平成27年度	H27－H26	説 明
① 病院事業収益 (ア+イ)	5,691,753	5,526,262	△ 165,491	
ア 医業収益	2,925,772	2,912,770	△ 13,002	
うち入院収益	2,274,256	2,255,555	△ 18,701	こころ △44,433 一志 +25,732
うち外来収益	553,886	558,956	5,070	こころ +12,744 一志 △7,674
イ 医業外収益	2,765,981	2,613,492	△ 152,489	
うち負担金	2,077,571	1,927,147	△ 150,424	一般会計繰入金(志摩病院)の減等
うちその他医業外収益	267,200	270,277	3,077	
うち長期前受金戻入	244,028	261,070	17,042	
② 病院事業費用 (ウ+エ+オ)	6,929,803	5,408,506	△ 1,521,297	
ウ 医業費用	5,304,094	5,192,845	△ 111,249	
うち給与費	2,607,618	2,657,134	49,516	平成26年度における給与改定の影響等 による増等
うち材料費	285,018	275,301	△ 9,717	患者数の減等による減
うち経費	1,756,810	1,612,432	△ 144,378	経営基盤強化交付金(志摩病院)の減等
うち減価償却費	626,955	624,839	△ 2,116	
エ 医業外費用	228,575	215,661	△ 12,914	
うち支払利息	164,245	147,845	△ 16,400	企業債残高の減少に伴う支払利息の減
オ 特別損失	1,397,134	-	△ 1,397,134	
医業損益(ア-ウ)	△ 2,378,322	△ 2,280,075	98,247	
経常損益(ア+イ)-(ウ+エ)	159,084	117,756	△ 41,328	
純損益(①-②)	△ 1,238,050	117,756	1,355,806	

(患者見込数)

	平成26年度	平成27年度	H27－H26	説 明
こころの医療センター				
入院患者数(人/日)	316	300	△ 16	
外来患者数(人/日)	270	280	10	
一志病院				
入院患者数(人/日)	34	35	1	
外来患者数(人/日)	94	94	-	
志摩病院				
入院患者数(人/日)	220	229	9	
外来患者数(人/日)	312	316	4	

(病院別の経常損益)

(単位：千円)

	平成26年度	平成27年度	H27－H26	説 明
こころの医療センター	185,509	122,897	△ 62,612	
一志病院	5	88	83	
志摩病院	△ 26,430	△ 5,229	21,201	
計	159,084	117,756	△ 41,328	

【議案補充説明】

(2) 資本的収支

「資本的収入」は、前年度当初予算と比べ4, 322万2千円増の15億5, 157万8千円となっています。主なものは、建設改良費の財源として借り入れる企業債3億8, 090万円、へき地医療拠点病院である志摩病院と一志病院の設備に係る国庫補助金3, 800万円、企業債償還金等に係る一般会計からの繰入として県費負担金7億5, 867万8千円などとなっています。

「資本的支出」は、前年度当初予算と比べ3, 957万2千円増の19億1, 344万8千円となっています。主なものは、病院施設・設備の整備等として建設改良費4億3, 768万円、建設改良費の財源などとして借り入れた企業債の償還金11億1, 856万8千円などとなっています。

また、建設改良費による病院増改築工事等については、下表のとおりです。

(資本的収支)

(単位：千円)

主要な項目	平成26年度	平成27年度	H27-H26	説 明
③ 資本的収入 (カ+キ+ク+ケ+コ)	1,508,356	1,551,578	43,222	
カ 企業債	384,900	380,900	△ 4,000	
キ 国庫補助金	-	38,000	38,000	へき地医療拠点病院設備整備事業補助金
ク 県費負担金	755,456	758,678	3,222	
ケ 固定資産売却代金	18,000	24,000	6,000	看護師等修学資金債権譲渡額
コ 短期貸付金返還金	350,000	350,000	-	
④ 資本的支出 (サ+シ+ス+セ)	1,873,876	1,913,448	39,572	
サ 建設改良費	393,733	437,680	43,947	病院増改築工事費 245,617 資産購入費(医療機器等) 192,063
シ 企業債償還金	1,116,943	1,118,568	1,625	
ス 長期貸付金	13,200	7,200	△ 6,000	看護師等修学資金
セ 短期貸付金	350,000	350,000	-	
資本的収支不足額 (③-④) (※)	△ 365,520	△ 361,870	3,650	

※資本的収支の不足額については、全額を内部留保資金で補てんすることとしています。

(病院増改築工事等一覧)

(単位：千円)

病 院 名	工 事 名 等	
こころの医療 センター	地域生活支援施設の整備に係る設計 (旧東2病棟改修工事設計) 7,884	ファンコイル集中操作パネル更新工事 に係る設計 4,207
	自動火災報知設備改修工事 101,317	
一志病院	診療棟屋上防水改修工事に係る設計 1,733	受水槽更新工事 34,069
志摩病院	院内保育所建築工事に係る設計及び 建築工事 25,600	直流電源設備取替工事に係る設計 1,127
	浄化槽設備更新工事 37,518	電話交換機等設備更新工事 30,236
	水道メーター交換工事 1,926	
合計		245,617

【議案補充説明】

(3) 平成27年度末予定貸借対照表

「資産」は、減価償却による固定資産の減等により平成26年度末と比べ8,497万5千円減の110億1,215万3千円、「負債」は、企業債償還等による減等により平成26年度末と比べ4億7,530万8千円減の188億4,313万4千円になる予定となっています。

また、「資本」は、平成27年度の純利益の計上等により78億3,098万1千円の資本不足となる予定です。なお、この資本不足は、平成26年度から適用した地方公営企業の新会計基準に基づき、これまで「資本」に整理されていた借入資本金（建設改良等の財源に充てるための企業債及び長期借入金）の93億4,895万3千円や建設改良費等に充当した県費負担金等の24億9,385万1千円を「負債」に計上したことなどによるものです。

(予定貸借対照表)

(単位：千円)

借 方				貸 方			
	平成26年度末	平成27年度末	増減(H27-H26)		平成26年度末	平成27年度末	増減(H27-H26)
資産の部				負債の部			
固定資産 A	9,603,627	9,348,177	△ 255,450	固定負債 C	15,598,981	14,873,502	△ 725,479
流動資産 B	1,493,501	1,663,976	170,475	流動負債 D	1,486,528	1,475,780	△ 10,748
				繰延収益 E	2,232,933	2,493,851	260,918
				負債合計 C+D+E	19,318,442	18,843,134	△ 475,308
				資本の部			-
				資本金 F	311,410	311,410	-
				剰余金 G	△ 8,532,724	△ 8,142,391	390,333
				資本合計 F+G	△ 8,221,314	△ 7,830,981	390,333
資産合計	11,097,128	11,012,153	△ 84,975	負債・資本合計	11,097,128	11,012,153	△ 84,975

※四捨五入のため、合計額等が合わない場合があります。

【議案補充説明】

(4) 債務負担行為

次表のとおり、「自動火災報知設備改修工事に係る契約」の他2件の債務負担行為を設定することとしています。

(債務負担行為一覧)

(単位：千円)

事 項	期 間	限 度 額
自動火災報知設備改修工事に係る契約	平成28年度	40,630
設備保全業務委託に係る契約	平成28年度	92
院内保育所建築工事に係る契約	平成28年度	34,503

2 議案第55号 病院事業庁企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例案

人事委員会の議会及び知事に対する平成26年10月15日付けの給与制度の総合的見直しに関する勧告等に鑑み、管理職員特別勤務手当、勤勉手当及び単身赴任手当の規定を整備するものです。

(1) 改正内容

- ・管理職員特別勤務手当

管理職員が、災害への対処等その他の臨時または緊急の必要により平日の深夜に勤務した場合を支給要件に加えます。

(現行：週休日または祝日法による休日若しくは年末年始の休日)

- ・勤勉手当

管理職員以外の勤勉手当に人事評価結果を反映するに当たり、勤勉手当基礎額など所要の改正を行います。

- ・単身赴任手当

再任用職員に対して単身赴任手当を支給できるようにします。

(2) 施行期日

平成27年4月1日から施行します。

【議案補充説明】

3 議案第88号 平成26年度三重県病院事業会計補正予算（第3号）

【平成26年度補正予算の概要】

（1）収益的収支

「病院事業収益」は、2, 227万9千円の減額補正を行うものです。

このうち、「医業収益」は、5, 796万5千円の減額補正を行うものです。この主な要因は、こころの医療センターにおける入院患者見込数の減であり、これは、平均在院日数が短縮していることなどによるものです。

また、「医業外収益」は、3, 568万6千円の増額補正を行うものです。主なものとしては、負担金において、一般会計からの繰入金について、繰入基準に基づき、救急医療の実績見込や研修医、看護実習生の受入などの人材育成に要する経費の実績見込等を踏まえて精査した結果、4, 133万1千円の増を見込んでいます。

「病院事業費用」は、1, 257万1千円の増額補正を行うものです。

このうち、「医業費用」は、1, 085万8千円の増額補正を行うものです。これは、経費において、志摩病院の指定管理者に対して交付する政策的医療交付金（指定管理料）について、本年度の診療実績見込等を踏まえて精査したことや、こころの医療センター及び一志病院における光熱水費の実績見込等によるものです。

また、「医業外費用」は、171万3千円の増額補正を行うものです。これは、雑損失において、こころの医療センターの入院患者が眼科や皮膚科など、院外の医療機関を受診した際に必要となる費用の実績見込等によるものです。

以上の結果、経常損益は1, 672万5千円の黒字となる見込みです。

【議案補充説明】

平成26年度三重県病院事業会計最終補正予算の概要

(収益的収支)

(単位：千円)

主要な項目	補正前の額	補正額	補正後の額	説 明
① 病院事業収益 (ア+イ)	5,578,547	△ 22,279	5,556,268	
ア 医業収益	2,771,876	△ 57,965	2,713,911	
うち入院収益	2,167,821	△ 57,818	2,110,003	こころ △51,065 一志 △6,753
うち外来収益	508,684	△ 5,929	502,755	こころ △3,456 一志 △2,473
イ 医業外収益	2,806,671	35,686	2,842,357	
うち負担金	2,090,296	41,331	2,131,627	一般会計繰入金の精査による増
うちその他医業外収益	276,639	△ 5,484	271,155	
うち長期前受金戻入	261,890	2,788	264,678	
② 病院事業費用 (ウ+エ+オ)	6,924,106	12,571	6,936,677	
ウ 医業費用	5,306,683	10,858	5,317,541	
うち給与費	2,614,581	△ 2,073	2,612,508	諸手当の精査による減
うち材料費	261,737	2,385	264,122	診療材料費の精査による増
うち経費	1,775,205	11,365	1,786,570	政策的医療交付金(指定管理料)、 光熱水費の精査による増
うち減価償却費	627,358	2,792	630,150	減価償却対象資産の精査による増
エ 医業外費用	220,289	1,713	222,002	
うち支払利息	157,032	47	157,079	
うち雑損失	13,215	1,632	14,847	他科受診費用の精査による増等
オ 特別損失	1,397,134	-	1,397,134	
医業損益(ア-ウ)	△ 2,534,807	△ 68,823	△ 2,603,630	
経常損益(ア+イ)-(ウ+エ)	51,575	△ 34,850	16,725	
純損益(①-②)	△ 1,345,559	△ 34,850	△ 1,380,409	

(患者見込数)

	補正前の数	増減数	補正後の数	説 明
こころの医療センター				
入院患者数(人/日)	292	△ 9	283	
外来患者数(人/日)	263	△ 1	262	
一志病院				
入院患者数(人/日)	34	△ 2	32	
外来患者数(人/日)	89	△ 1	88	
志摩病院				
入院患者数(人/日)	220	-	220	
外来患者数(人/日)	312	-	312	

(病院別の経常損益)

(単位：千円)

	補正前の額	補正額	補正後の額	説 明
こころの医療センター	64,463	△ 37,524	26,939	
一志病院	△ 5,754	8,029	2,275	
志摩病院	△ 7,134	△ 5,355	△ 12,489	
計	51,575	△ 34,850	16,725	

【議案補充説明】

(2) 資本的収支

資本的収支の状況については、次表のとおりです。この主な内容は、「資本的支出」において、建設改良費について、入札執行残などに伴う減額を見込むとともに、これと連動して「資本的収入」において、企業債等の減額を見込んだものです。

(資本的収支)

(単位：千円)

主要な項目	補正前の額	補正額	補正後の額	説 明
③ 資本的収入	1,508,356	△ 77,130	1,431,226	
カ 企業債	384,900	△ 71,400	313,500	建設改良費の減額に伴う減 こころの医療センター △ 26,400 一志病院 △ 43,600 志摩病院 △ 1,400
キ 県費負担金	755,456	△ 9,930	745,526	建設改良費の減額に伴う減 こころの医療センター △ 8,906 志摩病院 △ 1,024
ク 長期貸付金返還金	-	4,200	4,200	看護師等修学資金返還金
④ 資本的支出	1,903,613	△ 73,078	1,830,535	
ケ 建設改良費	393,733	△ 77,078	316,655	建設改良費の入札執行残 病院増改築工事費 △ 33,127 資産購入費 △ 43,951
コ 長期借入金償還金	30,000	10,000	40,000	一般会計からの借入金に係る返還
カ 長期貸付金	13,200	△ 6,000	7,200	看護師等修学資金の精査による減
資本的収支不足額 (③-④) (※)	△ 395,257	△ 4,052	△ 399,309	

※資本的収支の不足額については、全額を内部留保資金で補てんすることとしています。